

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 椋山女学園大学附属小学校
(※正式名称を記載)

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒464-0832
愛知県名古屋市千種区山添町2の2

E-mail shoujim@sugiyama-u.ac.jp

Website http://www.sugiyama-u.ac.jp/

幼児児童生徒数 男子 名 女子 478 名 合計 478 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳～ 12 歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「人間になろう」を学園理念として、よりグローバルな人間形成を目指しています。その中の一つとして、ESDを地球の持続発展を考える地球人育成と捉え、ESDの実践を通してグローバルリーダーとしての資質形成を目標としました。

具体的には、国際交流活動、ブルキナファソ支援活動、国際共通語（英語）の習得学習を柱に、①外国の文化に触れる活動、②国際支援に係わる活動、③毎日の英語学習を行いました。

① 外国の文化に触れる活動

・タンザニア、ティンガティンガ絵画交流；ティンガティンガ村から訪れたアーティストによる絵画指導と、絵画贈呈式。ティンガティンガ絵画の描き方を教わった後に、実際に描くことでその文化に親しみました。

・オーストラリア語学研修；研修に行った児童による活動報告会を行いました。オーストラリアでの暮らしやその国の文化についての報告や、現地での

交流活動の報告を行いました。

- ・イングリッシュデーの実施；リトルワールドに行き、一日英語を使って過ごす機会を持った。各国の伝統文化に触れたり、制作を行ったりしました。
- ・ジャナグル音楽交流；ジャナグルの演技者による実演と、音楽交流を行いました。

② 国際支援に係わる教育

- ・アフリカ、ブルキナファソ国に井戸づくりのための資金を援助する活動；本校の児童が開発したオリジナルキャラクターが印刷された、鉛筆やハンカチなどを児童が購入することで資金を作り、その売上金をブルキナファソ国に送る活動を行いました。
- ・ユニクロ「服のチカラ」プロジェクト参加；ユニクロが行うプロジェクト活動に、全校で取り組みました。

③ 毎日の英語学習

- ・1～6年生の全校児童が、毎日英語を勉強する「毎日英語」を実施；毎日少しずつ英語を学習することで、海外から来た人と交流するための素地を作っています。ネイティブの先生方の発音に慣れ、聞くことに抵抗感を抱かないようにしています。また、4・6年生は、検定試験を受けることで、自分の英語力をはかり、さらなる英語習得に努めました。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(海外ホームステイ体験)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ウェブサイト ; ユニクロ「服のチカラ」プロジェクト

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

- ・ 外国の文化に触れる活動
ティンガティンガ絵画交流（1学期）；全校、4年生アート体験
オーストラリア（夏休み）；5, 6年生希望者
イングリッシュデー（1学期）；3年生英語体験活動
ジャナグル音楽交流（1学期）；全校
- ・ 国際支援活動
ブルキナファソ支援（通年）；全校
児童が開発したオリジナルキャラクターが印刷されたグッズを、児童が購入することで、その売上金を現地で井戸を掘る事業の支援金としてあてています。
服のチカラプロジェクト参加；全校、5年生
- ・ 英語学習
毎日の英語学習（通年）；全校

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

年間指導計画（行事計画）に活動を組み入れ、全学年で取り組めるように計画を立てています。また、持続可能な活動としていくために、児童が開発したグッズを児童が販売・購入し合い、PTAとも連携することで、継続させていけるようにしています。さらに、名古屋ユネスコ協会とも連携を取りながら進めることで、より継続可能な取り組みになっています。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

支援してくださっている企業が行うプロジェクトに参加した際には、参加後に行われる振り返りを行いました。また、英語学習においては、4年生と6年生の児童が英語検定試験を受け、評価を確認しています。さらに、国際交流活動については、活動内容を毎年見直ししながら、より児童に理解しやすい形になるようにしています。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本学園(本校)のホームページを活用して、行事が行われるたびに、情報を公開しています。そうすることで、新たな取り組みの申し込みや問い合わせがあります。また、新聞やTVの取材を受けることもあり、その反響もホームページにメールとして届くようになっていました。寄せられたメールは、収集・分析し、次年度の活動に生かしています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本学園の大学(とくに教育学部)との関わりが強く、椙山女学園大学と連携していくことが多いです。また、愛知教育大学や中部大学が主催するイベントや交流会にも参加し、情報を共有しました。さらに、ユネスコ協会が行うプロジェクトにも協力し、継続的に活動をしています。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

直接的な交流は、今年度は行われませんでした。引き続きホームページを通して活動報告などを行いながら情報を発信し、必要があれば連携がとれるようにしています。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

毎年、児童が考え開発したオリジナルキャラクター付きグッズを販売し、その売上金をアフリカのブルキナファソ国に井戸を掘るための支援金として贈る活動を続けています。PTAとも連携しながら保護者も児童も積極的に活動をし、継続していけるような環境をつくり続け、楽しみながら取り組み続けていくことができます。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

4月；オーストラリア交流校の生徒来校、交流活動
5月；タンザニア「ティンガティンガ絵画」交流会
6月；3年生「イングリッシュデー」（リトルワールド英語体験活動）
；全校「ジャナグル音楽交流会」
7月；5年生「イングリッシュキャンプ」（大阪合宿）
8月；5・6年生希望者「オーストラリア語学研修」
9月；ユニクロ「服のチカラ」プロジェクト活動参加
12月；愛知県ユネスコスクール指導者研修会参加
1月；ユネスコ協会「書き損じはがき」収集協力活動
2月；4・6年生「ケンブリッジ英検」

*アフリカ「ブルキナファソ国・井戸掘り支援活動」は、1学期から、全校児童が継続的に行っており、PTAの協力も仰ぐ。